

MR I 検査(患者説明用)

検査説明日 _____

検査当日は、診察券、検査予約票、「MRI 造影剤同意書」を受け取られた方はその同意書をご持参の上、検査予約時間の **20 分前**までに「放射線・内視鏡受付」にお越しください。予約時間を優先しておりますが、検査内容や救急対応により、順番が前後する場合があります。

【検査の方法】

- MRI 検査は強力な磁場の中でラジオ波を使って身体の断面図を得ることにより、目的臓器の詳しい情報を調べる検査です。
- 検査は撮影台で横になって行います。検査時間は1部位あたり20分～40分程度です。

【MRI 検査を受ける事前の注意事項】

次のような方は検査前に主治医、当日の検査担当技師にお知らせ下さい。

〈検査を受けることができない方〉

心臓ペースメーカー (MRI 非対応型) を装着されている方

人工弁を装着されている方

人工内耳を装着されている方

〈検査を受けることができない場合がある方〉

- 体内に金属(脳動脈クリップ等)を有する方
- 閉所恐怖症の方
- 刺青をされている方 (火傷を生じることがある)
- 妊娠中の方

【MRI 検査を受ける当日の注意事項】

- MRI 検査は、強力な磁場を用いて検査を行います。安全に検査を受けて頂くために、検査部位に関わらず検査着に着替えて頂くことがあります。当日は貼り薬・アクセサリ類は控えて、身軽な服装でご来院ください。入れ歯、補聴器のある方は外していただきます。
- マグネット式導尿カテーテルキャップ (DIB キャップ) をご使用の方は検査担当技師にお申し出下さい。
- 標準的な検査時間は、20分～40分程度です。トイレはあらかじめ済ませておいて下さい。
- 服用中のお薬(心臓、血圧のお薬等)については医師から指示がない限り通常通り服用して下さい。
- 上腹部の検査または造影検査は、絶食が必要になります。午前に検査がある方は朝食を、午後に検査がある方は昼食をとらないで下さい。
- 化粧品の色や材質(マスカラ、ラメ入り等)によっては火傷の恐れがあるため、過度な化粧はお控え下さい。
- その他、何か不明な点があれば当日の検査担当技師にお尋ね下さい。

MRI 造影剤使用に関する説明

様

検査日 _____ 検査説明日 _____ ID _____

MRI では以下の造影剤を使用することがあります。

・ガドリニウム造影剤

この造影剤を使用することで、写真にコントラストがつき、病変が明瞭になります。この薬は静脈内へ注入します。注入時の刺激は僅かで 1~2%程度にじんましん、嘔吐等の軽い副作用が出現することが報告されていますが、重篤なアレルギー反応が発生することはきわめてまれです(0.01%以下)。こういった副作用は、アレルギーのある方、喘息のある方は通常より発生頻度が 3 倍程度高いことが報告されています。(喘息は原則禁忌)

また、この薬は腎臓から排泄されますので、重度の腎障害 (**eGFR が 40 以下**) のある方は、全身の皮膚が線維化する腎性全身性線維症(NFS)が発生することがあり、使用できません。

・EOBプリモビスト製剤

この造影剤を使用することで、腹部検査の目的により、造影剤血流動態による評価と肝細胞機能による評価を行う造影剤です。

この造影剤もガドリニウムという物質が含まれており、上記の製剤と同様の頻度で副作用が生じる可能性があります。

・SP10造影剤

この造影剤は正常の肝臓にとり込まれるため肝臓の悪い所を明瞭に描出することができます。この薬は静脈内へ注入します。3%程度に背部痛、熱感、じんましん等の軽い副作用が出現することが報告されていますが、重篤な副作用が発生することはきわめてまれです。

まれに造影剤が血管外に漏れ腫れて痛むことがありますが、時間とともに吸収されます。

鉄剤に対して、過敏症の方、ヘモクロマトーシス等の鉄過敏症の方、出血されている方には使用することができません。

説明医師